

インクリメントP とオランダの HERE が連携強化、位置情報提供データの拡充へ HERE の世界各国のネットワークを活用し、日本の地図データを海外へ販売 ～自動運転時代の業界開発スピードの加速や新業態の商圏分析など多様な活用に期待～

高精度 3D 地図データなど位置情報技術を駆使するロケーションインテリジェンスカンパニーのインクリメントP株式会社（本社：東京都文京区：代表取締役社長 相木孝仁、以下「インクリメントP」）は、このたび、位置情報データおよび位置情報技術のプラットフォームを提供する HERE Technologies（本社：オランダ・アムステルダム、最高経営責任者：Edzard Overbeek、読み：ヒアテクノロジーズ、以下、「HERE」）が提供する、位置情報データを一元化し企業取引をシームレスに行うためのプラットフォーム「HERE Marketplace（ヒアマーケットプレイス）」に対して、インクリメントPの地図データ提供を開始します。

本データは、インクリメントPの創業以来、整備を進めてきたカーナビ向けの地図データに加え、2005年以降独自で行ってきた全国125万キロメートル、延べ660万キロメートルの走行調査から蓄積した地図データをパッケージ化したものです。今後の自動運転時代を見据えた業界全体の開発スピードの加速に加え、世界中の企業によって日本の地図情報を活用した宅配やデリバリーなどの新業態の事業開発や商圏分析をはじめとするマーケティング活動など多様な用途に活用されることを期待しています。



Increment P

■データ提供の背景

HEREは位置情報分野での世界的なプラットフォームであり、世界中の企業が現地の地図情報・位置情報を活用した活動やビジネスを行う際に利用するプラットフォームを開発・提供しています。インクリメントPは2004年よりデジタル地図整備を目的に業界でいち早く開始し、これまで独自で全国125万キロメートル、延べ660万キロメートルの走行調査を行った結果、道路ネットワークデータや日本特有の住所事情に対応した業界トップレベルの住所データなどの地図データベース「MapFan DB」を保有しています。

両社は2017年に、自動運転時代に向けたグローバルな地図ソリューションの実現を目的として業務提携を開始し、その後HEREは企業が保有している情報とHEREの地図情報と掛け合わせて分析・加工する開発環境「HERE Workspace（ヒアワークスペース）」で使用可能な日本の地図データとして、インクリメントPが提供する地図データベース「MapFan DB」を採用しました。

■ 本提携の詳細

今回、世界的な日本地図データ活用の需要に対応するため、HERE location platform 上にある「HERE Marketplace」にインクリメント P の地図データを提供するに至りました。両社は新たな需要の創出とデータ供給・調達が可能になり、世界中の顧客ニーズに対応していくことを目指します。

● 「HERE Marketplace (ヒアマーケットプレイス)」について

HERE Marketplace では世界各地の位置情報に関連する幅広いデータをプラットフォーム上に一元化しており、現地の位置情報を活用したい企業が、データ提供元との売買・取引をマーケットプレイス上でシームレスに行うことができるプラットフォームです。

● インクリメント P が提供するデータセット「MapFan DB」について

インクリメント P は独自の地図整備システムを構築し、カーナビ向け道路ネットワークデータをはじめ、建物形状などを含む詳細な地図データ、日本特有の住所事情に対応した住所データ、目的地の検索や分析などにも使えるスポット（施設）データなど多種多様なデータを提供しています。さらに、住所の表記揺れを統一するための住所クレンジング API や、マーケティング用途で活用可能な街や道路の未来の変化情報の提供を行なっています。



【 HERE Marketplace へ提供予定の「MapFan DB」データ】

■ 本提携に関する両社のコメント

HERE Japan 代表取締役社長 高橋明宏



「2017年2月の戦略的提携合意以来、インクリメント P 社とは HERE が日本で提供する製品やサービス向けの地図データを提供いただくなどの、ストラテジックなパートナーシップを進めてまいりました。今回、HERE Marketplace 上でインクリメント P 社が保有する様々な地図データ・コンテンツを国内外問わず多くの産業や地域に向けて提供可能になることによって、両社の協業がオープンでニュートラルな位置情報のデータマネタイゼーションをさらに加速すると期待しております。」

インクリメントP 代表取締役社長 相木孝仁



「当社は HERE Workspace を通じて日本の地図データの提供を継続するとともに、HERE Marketplace を活用して地図データをお客様に提供することで、HERE location platform 全体の利用価値向上に寄与していきます。HERE 社との提携により世界中の企業へアプローチが可能となったことで、グローバルな位置情報サービスの需要の更なる活性化に貢献いたします。今後も、HERE 社の重要な戦略的パートナーとして、より連携を強化してまいります。」

■これまでの両社の協業関係について（沿革）

2017年2月：戦略的提携合意(戦略的パートナー企業)

2017年6月：基本契約の締結

2018年5月：「OneMap Alliance」を結成

2019年5月：インクリメントPの地図データを取り込み「HERE location platform」の日本地域版をリリース

2021年5月：HERE Marketplace にインクリメントPのデータセットを提供

■会社概要

HERE について

位置情報および位置情報技術のプラットフォームを提供する HERE は、位置情報の力で、人、ビジネス、都市の推進に取り組んでいます。HERE のオープン・プラットフォームを通じて、都市のインフラ運営から企業の資産最適化、さらにはドライバーが安全に目的地に到着することまで、お客様により良い成果をご提供いたします。HERE の詳細は www.here.com および <http://360.here.com> をご覧ください。

HERE location platform について

HERE の提供する HERE location platform は HERE Workspace、HERE Marketplace、HERE Studio から構成されています。

HERE Workspace では企業が保有している情報（センサー情報など）を HERE の地図情報と掛け合わせて分析・加工する開発環境を提供しています。HERE Marketplace では各地の位置情報データを企業が必要に応じて検索・購入や、データ提供元とのユーザーとのマッチングを実現するなど、世界各地の位置情報を一元化し企業取引をシームレスに行うためのプラットフォームを提供しています。HERE Studio では GUI を駆使し、高度なプログラミング技術不要で地図デザインなどがカスタマイズできる機能を提供しています。

インクリメントP株式会社について

1994年、カーナビ用のデジタル地図事業をスタート、日本全国の地図整備からサービス提供まで一貫して手掛け、カーナビ向けの地図データや地図更新ソフト開発の他、「MapFan」ブランドで地図サービスを展開しています。現実世界の膨大な変化点をスピーディに収集、抽出、更新する独自の革新的な地図制作技術をもとに、高鮮度かつ高精度な地図の提供を実現するとともに、高度な自動運転の実現に不可欠な高精度地図の提供も行っています。さらに、人流データをはじめとする多様なビッグデータ・リアルタイムデータと地図を掛け合わせ、Location Intelligence による新たなサービスの創出に取り組んでいます。